HexagonalにおけるNewODF挙動調査

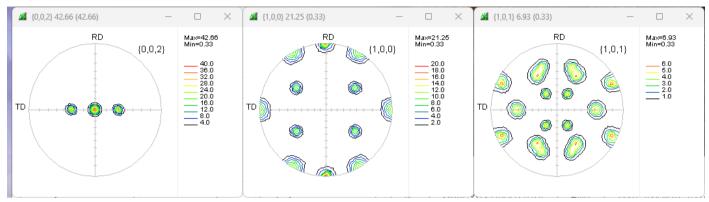
2025年03月06日 HelperTex Office

## 概要

前回 [Hexagonal材料のODF解析の注意点] で (001) [100] の VolueFraction 計算にて、良い結果が得られなかったので、追加調査をおこなう。

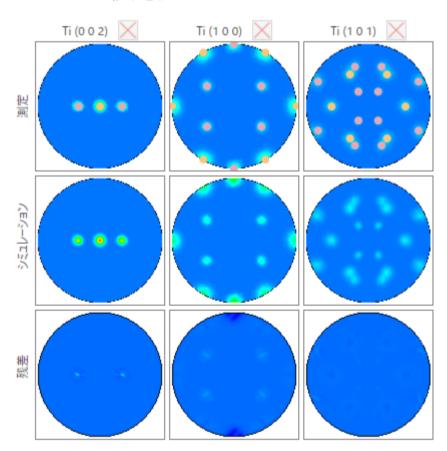
 $\{0\ 0\ 1\} < 1\ 0\ 0> FWHM10 deg、 \{1\ 1\ 4\} < 1-1\ 0> FWHM6 degとrandomを33%で加算した極点図のVolumeFraction計算を行う。$ 

## 入力データ



M i n i = 0. 33 -> r a n d o m = 33%

## NewODFに読み込む



## 計算方式: コンポーネントモデル マ指定

ODFを計算	DF図をエクスポート			
DDF計算 計算方式: 試料の対称性 α解析開始角度(°): α解析終了角度(°): パラメーター 結晶相:	0.00	φ <sub>1</sub> ステッ Φステッ φ <sub>2</sub> ステッ	ッド プ(°): 5.00 プ(°): 5.00 プ(°): 5.00	
最小化アルゴリズム: 母集団: 50 重み: 50.00 コンポーネント定義 ランダムの分率 0.3 体積分率 (%): 35.2	個体数: 100 クロスオーバー: 50. RP因子=9.26 ス 毎小: 0.	ターゲットχ²: 00 テータス: 十分な数0	D測定極点図から計	
コンポーネント		ネントをDBから読みぇ		
1 1 1 2 2	名称 色 極	点図上に表示	方位	体積分率(%)
1 . V Basal-	-А		0 1)[1 0 0]	31.63
1 .	-A Dit			
1 . ✓ Basal· ▶ 2 . ✓ TD-sp  □ンポーネントプロ/	-A   III	<b>✓</b> (1	0 1)[1 0 0] 1 4)[1 -1 0]	31.63 33.13
1 . ✓ Basal· ▶ 2 . ✓ TD-sp  コンポーネントプロ/ /パラメーター	-A   III   III	☑ (1	0 1)[1 0 0] 1 4)[1 -1 0]	31.63 33.13 フィッティング
1 . ✔ Basal- ▶ 2 . ✔ TD-sp コンポーネントプロ/ /パラメーター 分率	-A	最小 0.00	0 1)[1 0 0] 1 4)[1 -1 0] 最大 1.00	31.63 33.13 フィッティング
1 . ✓ Basal· ▶ 2 . ✓ TD-sp  コンポーネントプロ/ /パラメーター	A 回ります (位 0.33 9.29	☑ (1	0 1)[1 0 0] 1 4)[1 -1 0]	31.63 33.13 フィッティング
1 . ✓ Basal- ▶ 2 . ✓ TD-sp コンポーネントプロ/ パラメーター 分率	-A	最小 0.00	0 1)[1 0 0] 1 4)[1 -1 0] 最大 1.00	31.63 33.13 フィッティング
1 . V Basal- 2 . V TD-sp コンポーネントプロ/ パラメーター 分率 FWHM (°)	A 回ります (位 0.33 9.29	最小 0.00 1.00	0 1)[1 0 0] 1 4)[1 -1 0] 最大 1.00 40.00	31.63 33.13 フィッティング

良い結果が得られる。

単独のBasalはFiiting不良であるが
Basal+TD-SpiltならFittingが行える。

